

「植生調査 ヨシ群落の定点撮影」の試行調査を実施しました

滋賀県の琵琶湖において、モニタリングサイト1000陸水域（湖沼）調査の「植生調査」の一環として、「ヨシ群落の定点撮影」を試行的に実施しました。調査は、平成21年8月1日～10月10日にかけて行いました。調査の実施に当たっては、琵琶湖水鳥・湿地センターの職員の方にご協力いただきました。

この試行調査では、ヨシ群落の「健康診断」にとって重要な情報である発芽時期・出穂時期・開花時期を知ることが可能かどうかを調べました。

連続撮影の画像から、調査地では、9月20日～23日にヨシが開花したことが分かりました。季節的におこる自然界の動植物が示す諸現象の時間的変化や、気候あるいは気象との関連を明らかにする学問分野を「フェノロジー」といいます。今回実施した定点撮影の結果は、ヨシ群落のフェノロジーが気候変動などのパラメーターとして使える可能性を示すものでした。



湖沼調査サイト位置図

2009年9月19日



ヨシの穂は、たくさん花（小穂・小花）の集まりです。



この写真を拡大してみました。まだ開花していません。

2009年9月23日



小さな花が、たくさん開花してきました。



拡大すると、このような感じです。

2009年10月3日



開花した花がさらに多くなり、白毛が目立つようになりました。



拡大写真です。

2009年10月10日



さらに時間が経過したヨシの穂です。熟すと、花ごと散り始めます。



拡大写真です。

撮影：植田 潤

